
【わが村運動情報】

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」6月号の掲載情報

JR北海道車内誌には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。6月号では、第11回コンクールで大賞を受賞した「**美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい**」（積丹町）について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

JR北海道HPからJR北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（HPトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「**美国・美しい海づくり協議会／余別・海 HUG くみたい**」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa000001jpok.pdf

◎ 広報誌「開発こうほう」6月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。6月号では第8回コンクールで優秀賞を受賞した「**留萌市食農教育推進協議会**」（留萌市）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「**留萌市食農教育推進協議会**」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/08/dantai/8801.pdf>

【わが村コラム】

今回ご紹介するのは、富良野市の「**富良野オムカレー推進協議会**」（旧団体名：食のトライアングル（農・商・消）研究会（第4回コンクール地域特産物部門銅賞受賞））が「食」を通じた町おこしとして取り組んでいるご当地グルメ『**富良野オムカレー**』です。

道内外から多くの観光客が集まる富良野市で、地元食材や特産品を生かし、提供スタイルにこだわった富良野オムカレーの地域ブランド化の確立により観光地グルメとして食と観光振興で地域経済の活性化に繋げるとともに、地域に根差した食文化の醸成を目指し、平成18年3月に誕生したのが『富良野オムカレー』です。

ご当地グルメ『富良野オムカレー』は、国民食のカレーとオムライスを組み合わせ、地元食材と提供スタイルにこだわった新カテゴリーのご当地カレーとして、提供



するお店ではオムカレーの中央に旗を立てるなどの『富良野オムカレー』のルール6カ条を守った上で、各店舗で独自の『富良野オムカレー』を提供しています。

・『富良野オムカレー』のルール（富良野オムカレー推進協議会公式サイトより）

- 第1条 お米は富良野産を使い、ライスに工夫を凝らす
- 第2条 卵は原則 富良野産を使い、オムカレーの中央に旗をたてる
- 第3条 富良野産の「チーズ（バター）」もしくは「ワイン」を使用する
- 第4条 野菜や肉、福神漬（ピクルス）なども富良野産・北海道産にこだわる
- 第5条 富良野産の食材にこだわった一品と「ふらの牛乳」をつける
- 第6条 料金は税抜1,500円以内（令和6年4月変更）で提供する

「富良野オムカレー推進協議会」では、これまでに何度かルール6カ条などの規約の変更を行いながら継続的な活動を展開し、これまでの提供食数が累計96万食（令和6年3月末時点）を突破したほか、商品の開発や給食献立化等、地産地消や食育活動の展開も行っています。

さて、『富良野オムカレー』は現在5店舗で提供されていますが、まさにオムカレーといったスタンダードなものから、鉄板焼き風のものまで、店舗ごとに工夫をこらしており、今回、筆者



筆者が食べたオムカレー

が食べたオムカレーは前者に近いと思われるものでしたが、『富良野オムカレー』のためだけに開発されたというルーを使用しているようで、辛さ控えめで、辛いものが苦手な方でも食べやすい味でした。また、ふわふわの卵の上にはジューシーなベーコンが存在感を放っており、付け合わせとしてザンギと地元産の野菜（このお店では季節によって

変わるそうです）が彩りを加えています。特に、さつまいものフライ（写真右側にある細長いもの）には優しい甘みがあり、ルーの味との対比がとても印象に残りました。そのほか、飲み物として付いてくる地元の「ふらの牛乳」は生乳を低温殺菌しているため、牛乳本来の濃厚な味がそのまま味わえる一品でした。

富良野が誇る地場産品のおいしさを、まるごと味わえる『富良野オムカレー』。

お店ごとに個性があり、食べ比べるのもおすすめです。富良野にお越しの際はぜひ、のぼりの立っている店舗で、皆さんも『富良野オムカレー』を味わってみては如何でしょうか！

【場 所】 富良野市内5店舗(令和7年4月現在)

【関係HP】 <http://furano-omucurry.com> （富良野オムカレー推進協議会公式サイト）

【わが村団体活動情報】

◎『フレッシュ市場「花菜夢」』今期営業のお知らせです！（遠別町）

<わが村団体名：フレッシュ市場「花菜夢（かなむ）」>

平成14年にJAるもい女性部の取組の一環としてはじまった直売会。「遠別の農産物のおいし



さを町内外の人々に知ってもらいたい」という思いから、「安全・安心なおいしい農産物を提供」をモットーに、23年間休むことなく活動を継続しています。

今年も道の駅「えんべつ富士見」にて、フレッシュ市場「花菜夢」販売開始です！！

その日の朝に収穫した新鮮野菜や遠別産餅米「はくちょうもち」使用の大福餅、シフォンケーキや自家製ジャムなどのほか、屋外では野菜の苗や、きれいに育った花なども販売します。



長年活動を続けている中で色々な種類の野菜作りに取り組み、今では販売する商品数が100種

類以上と、スーパーなどではあまり見かけない種類の野菜等、時期によって様々な野菜を購入することができ、また、消費者の立場に立った低価格で提供しています。

これから10月12日（日）までの毎週日曜日に開催しますので、ぜひ一度お越しください。



【開催期間】令和7年6月8日（日）～10月12日（日）の毎週日曜日

【開催時間】10：30～16：00

【開催場所】道の駅「えんべつ富士見」（遠別町字富士見46番地21（国道232号沿い））

◎『ウトロ漁協婦人部食堂』今季営業のお知らせ☆（斜里町）

<わが村団体名：JFウトロ漁業協同組合女性部>

ウトロ漁協の女性部が運営する「婦人部食堂」が今季の営業を開始しました！

「世界自然遺産・知床」のオホーツク海側、斜里町ウトロ漁港にあるこの食堂は、当初は入港する漁船の船員向けに始まりましたが、現在では観光客や釣り人など多くの方に利用されています。



焼き魚定食やウニ丼・いくら丼など、その時々でウトロでとれる海鮮メニューから、カレーやラーメン等の定番メニューもあります。

昭和40年の開店当時から変わらないカウンターだけの小さな店で、漁港の様子を眺めながらウトロの新鮮な海の幸を味わってみてはいかがでしょうか！



【営業期間】 令和7年4月29日～10月末頃まで ※不定休

【営業時間】 8：30～14：30ラストオーダー

【住所】 斜里郡斜里町ウトロ東117番地（ウトロ漁港内）

【電話】 0152-24-3191

【活動支援メニュー】

○令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、現在、令和7年度（前期）の申請受付を行っています。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆さまを応援しています。

【申請受付期間】（前期）令和7年1月～令和7年6月30日まで

【助成額】1団体当たり1件、10万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和7年度 地域づくり活動発掘・支援事業（公益社団法人 はまなす財団）

公益社団法人 はまなす財団では、地域課題を解決し、地域の将来を牽引する地域づくり活動を掘り起こし、その活動や取り組みが持続的なものとなるよう、活動団体と同じ目線に立って支援する「地域づくり活動発掘・支援事業」の募集を開始しています。

急速な人口減少に直面している北海道では、さまざまな組織や関係者が各々の強みを活かして共に歩みを進めていく「共創」の取り組みが求められています。そこで、今年度は「連携枠」として関係機関と連携した新たな支援枠を整備し、「食と観光」分野を中心に支援を希望する民間団体を募集します。募集の対象となる団体、支援の対象となる事業・活動等や申請方法の詳細等については、はまなす財団のHPによりご確認ください。

【募集期間】5月8日（木）～6月9日（月）必着

【活動資金の支給】①一般枠：1団体あたり100万円（税込）

②農業枠：1団体あたり120万円（税込）

③共創枠：1団体あたり100万円（税込）

【H P】 <https://www.hamanasu.or.jp/index.html>

○農山漁村の案内に役立つ〔便利帳〕（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する〔便利帳〕を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：第3四半期（10月～12月））

令和7年7月1日 ～ 令和7年8月20日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

最近はお米、ガソリン価格なども高止まりし、よく分からない情報もいろいろと飛び交っていますが、いよいよ6月を迎え、木々の緑も色濃くなりはじめ、日差しを強く感じられる日も多くなりました。6月といえば暦の上では祝日がなく少し寂しい感じがしますが、各都道府県や各市町村などで独自の記念日や祝日を設けている場合もあり、札幌市では北海道神宮の例祭（通称「札幌まつり」）の日、6月15日を「郷土の日」として、今でも公立学校などで半日休みが取られる慣習のほか、札幌の建設業界でも一斉休業する習わしがあるようです。今年は子供たちにとっては残念ながら日曜日ですが、札幌市民の方などは慣習に沿って家族で出かけるのも良いかもしれませんね。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先(所在地)、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
